

第1回「JARI 新モビリティセミナー」

主催：一般財団法人日本自動車研究所

後援：一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

2022年4月22日（オンライン配信）



CASEという言葉に代表される **100年に1度の自動車の変革期**を迎え、日本自動車研究所は、「**新モビリティ**」を新たな研究分野として位置づけることとし、

- ◎ **自動運転などの次世代のモビリティの実装**に向けた安全性の検証やビジネスモデルの検討
- ◎ **中山間地や過疎地**などの暮らしの基盤となる**生活支援サービスの現状**や、それらのサービスを継続していくための**モビリティサービスのあり方等**の研究に着手しました。

この度、これらの成果を紹介するセミナーを開催いたします。**地域が抱える移動課題の解決に向けた自動運転を始めとする様々なモビリティサービスの導入・検討**にあたって、地域や社会ニーズの把握、生活を支える様々なサービスの現状など、新しい気づきの場として是非お役立てください。

プログラム（13：00～17：00）

- 1. 開会挨拶** (一財)日本自動車研究所 所長 鎌田 実
- 2. JARI 新モビリティ研究部の取り組み紹介**
(一財)日本自動車研究所 新モビリティ研究部部長 谷川 浩
- 3. 少子高齢化時代の医療・介護福祉の現状や今後に向けての取り組み**
特定非営利活動法人 但馬を結んで育つ会 代表理事
ちば内科・脳神経内科クリニック 院長 千葉 義幸 氏
- 4. 中山間地域での暮らしの維持に関する調査研究報告（4地域から報告）**
 - ・高知県仁淀川町： 東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員 神谷 哲郎 氏
 - ・秋田県小坂町： (株)日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト 齊木 大 氏
 - ・島根県美郷町： 復建調査設計(株) 総合計画部 主任 大塚 健裕 氏
 - ・岡山県備前市吉永町： (一財)日本自動車研究所新モビリティ研究部 シニアエキスパート 國弘由比
- 5. パネルディスカッション**
少子高齢社会を迎えるにあたっての課題の整理、医療やモビリティなどの必要な手当て、地域社会の在り方などについてディスカッションする。

パネラー	辻 哲夫 氏	東京大学 高齢社会総合研究機構 客員研究員 (一財)医療経済研究・社会保険福祉協会理事
	飯島 勝矢 氏	東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
	服部 真治 氏	(一財)医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部主席研究員 兼 研究総務部次長業務推進部特命担当
モデレータ	鎌田 実	(一財)日本自動車研究所所長

- ・参加費：無料
- ・申し込み方法：JARI ホームページ
<https://www.jari.or.jp/information/event-seminar/seminar/mobility-seminer/46206/>
からお申し込みください。
- ・プログラム・内容等についてのお問合せは、(一財)日本自動車研究所 新モビリティ研究部 國弘まで
e-mail : itstokyo@jari.or.jp

